

横浜市脱炭素社会の形成の推進に関する条例に基づく 令和 4 年度の実施状況について

- 1 脱炭素社会の形成の推進に関する施策の実施状況について 2

【掲載取組】

基本方針名	報告書 掲載頁
(1) 基本方針 6 市役所の率先行動	35 頁
(2) 基本方針 7 気候変動の影響への適応	60 頁

1 脱炭素社会の形成の推進に関する施策の実施状況について

(1) 基本方針6 市役所の率先行動

局・統括本部ごとの取組実績等

にぎわいスポーツ文化局

- 2021(令和3)年度の温室効果ガス排出量は、2013年度比 16.8%減の 1.7 万トンとなりました。
- 2022(令和4)年度のエネルギー消費量は、2013年度比 13.2%減の 363TJ となりました。
- 2022(令和4)年度は、新たに横浜みなとみらいホールなどに LED 等高効率照明を導入し、LED 化率は 47%となりました。
- パシフィコ横浜ノースや横浜武道館など 3 施設に太陽光発電設備を導入しています。
- 一般公用車の所有はありません。
- 全職員を対象とした環境研修を受講するとともに、クールビズ・ウォームビズやグリーン購入を推進しました。また、会議等においてプロジェクターやディスプレイを活用するなど、ペーパーレス化に取り組んだほか、WEB会議等の新しい働き方を推進することで、温室効果ガスの排出削減につなげました。
- 「ワールドトライアスロン・パラトライアスロンシリーズ横浜大会」において、海の環境への意識を高めていただくために、ブルーカーボンを対象としたカーボン・オフセットを実施しました。また、創造的イルミネーション事業「ヨルノヨ」において、カーボン・オフセットに加え、太陽光発電と蓄電池を組み合わせ一部で活用するなど、再生可能エネルギーの導入を試行的に実施しました。

<温室効果ガス排出量の状況> (単位:万 t-CO₂)

基準年度 (2013)	2019 年度	2020 年度	2021 年度	
	実績	実績	実績	増減率 基準年度比
2.1	1.7	1.6	1.7	▲16.8%

<エネルギー消費量の状況> (単位:TJ)

基準年度 (2013)	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	
	実績	実績	実績	実績	増減率 基準年度比
418	379	344	357	363	▲13.2%

<公共建築物の新築・改修等における取組(LED 等高効率照明の導入状況)>

全灯数 (2022 年度)	LED 等高効率照明の導入割合の推移			
	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
76,121	17%	31%	35%	47%

<再エネの導入拡大に向けた取組(太陽光発電設備の導入状況)>

設置済施設数(2022 年度)：3施設

<公用車における取組(一般公用車における次世代自動車等の導入状況)>

一般公用車の 台数 (2022 年度)	次世代自動車等の導入割合の推移			
	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
—	—	—	—	—

(2) 基本方針7 気候変動の影響への適応

取組実績、今後の取組

3 熱中症・感染症等分野の適応策の推進

- 空調機が未設置のスポーツセンター等の体育室について、特定天井脱落対策工事と同時施工を原則として、エネルギー効率の高い空調機の設置を順次行いました。次年度以降も引き続き、設置を進めます。